

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横芝光町立横芝小学校] 担当教諭名 [秋葉 優] (4年 73名)

相手国・地域 [ベリーズ]

海外学校名 [St. Peter's Anglican School] 担当教諭名 [Paula Lizarraga]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト	33
	図画工作	思いを形に	4
	道徳	世界の小学生	1

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	貧困や飢餓のない世界に
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	子供たちは、世界中に飢餓や貧困で苦しんでいることを調べあげ、これがない世界を作りたいという意識を強くもった。子供たちは、様々な意見の交流を通して、未来に向けてのメッセージを考えることができた。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 世界で起きていることについて自分事として捉え、自分にできることは何かを考えることができるようになった。 ベリーズという横芝光町の姉妹都市について知ることができ、知識を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「飢餓をなくしたい」という意欲を授業で扱った時には、実践に良く取り組むことができたが、声かけをしない時期には、自ら実践している児童が少ないように感じた。 世界で起きていることがイメージしにくく、児童の理解につながりにくいところがあった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 食べものを残さず、食べようという意識をもつようになってきた。 貧困について、知ろうとする子が多く、自ら調べ、まとめていた。 自分たちが考えたアイデアを絵に表現することで、見る側の立場になってデザインを考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> これまであまり考えていなかった「貧困」「飢餓」について考えるきっかけになった。 SDGsについて考える機会が増え、貧困や飢餓だけでなく、たくさんのことを学ぶきっかけにできた。 学習を進めていく中で、児童に気付かされることも多く、児童からたくさんのことを学ぶことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 7月	・ベリーズの国調べ ・日本や横芝光町の紹介文や紹介動画の作成 ・SDGs調べ	児童は、ベリーズ紹介動画を視聴し、非常に興味をもって取り組むことができた。また、日本の魅力を伝えるためにICT機器を使って調べ、発表することができた。	総合3
共有 相手と意見交換	9月 10月	・SDGsの解決したい項目についての調べ学習 ・解決策について自分の意見をまとめる	飢餓や貧困について意見交換をしていくなかで、詳しく調べ学習を進めようとする児童の姿が見られた。これまでに、何となくでしか捉えていなかった飢餓や貧困について知識を広げている場面をたくさん見ることができた。	総合10
融合 メッセージ作成	11月 12月	・ベリーズの生徒の意見を参考に、もう一度自分や学級、学年の意見としてまとめる	ベリーズの生徒との意見交流を通して、日本とベリーズでは考え方に違いがあることを知ることができた。それぞれの国で、何ができるのかを話し合い、メッセージとして何を伝えていきたいのかを考え、自分たちの壁画制作のテーマを決定することができた。	総合15 道徳1
創造 壁画制作	1月 2月	・これまでの学習で考えたアイデアを絵で表現する ・半面描かれた壁画の鑑賞活動を行う	協働学習を通して、貧困や飢餓をなくしたいという思いから、誰が見ても分かるような取り組みを絵に表すことを決めた。「飢餓や貧困がなくなるような世界になってほしい」などつぶやきながら活動している児童も見られ、アートマイルに取り組む前との児童の意識の変化を感じることができた。	総合3 図工4
評価 振り返り 自己評価	3月	・完成した壁画の鑑賞活動 ・ベリーズの生徒との交流活動で身に付いた力などを振り返る	完成した壁画を鑑賞し、これまでの学習の振り返りを行った。児童は、「貧困や飢餓をなくしたい」というテーマで活動を行い、そのテーマに沿った壁画になっていると考えることができた。壁画に描いたメッセージを学年の児童はもちろん、校内の他学年に発信し、貧困や飢餓をなくせるよう行動していきたいと考えることができた。	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついった 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	ベリーズや日本について調べ、それぞれの国の良さについて発見することができた。特に、日本について考えたときには、自分の住んでいる国の魅力を再発見した児童が多いように感じた。
主体的に考え行動する力	4	グループ活動の場面では、調べ学習や発表の役割分担など自分たちでどうしたらよいか考えている場面が多く見られた。自らが課題意識をもって取り組むことができたように感じる。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	ベリーズの生徒たちの意見を鵜呑みにしている児童が多く見られ、本当にそうなのか？と考える児童が少なかったように感じた。多くの時間を取ることができればもう少し批判的思考を身に付けられることができたかもしれない。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	本活動では、フォーラムにお互いがコメントをし合い、活動を進めていった。児童にとっては、文字と写真だけでは、他者と一緒になって活動を進めているとは感じづらい状況であったように感じる。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	協働学習で考えた「貧困や飢餓を世界からなくしたい」という思いから、見る側を意識した壁画制作を行うことができ、自分の考えを絵という形で表現する力を身に付けることができた。